

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	公衆衛生分野における人材育成事業
3. 事業の背景と必要性	<p>神奈川県海外技術研修員受入事業において、2006年より遼寧省から公衆衛生分野の研修員を受け入れ、同県衛生研究所等の関係機関で研修を実施してきたが、現地では、感染症発生時の調査分析結果の提供の流れが確立されていない等の問題点がある。そこで、同県衛生研究所職員を遼寧省疾病予防コントロールセンターに派遣し、呼吸器系・腸管系ウイルス感染症対策遺伝子組み換え食品の情報解析等の遼寧省の公衆衛生分野の課題について、アセスメントを実施し、遼寧省疾病予防コントロールセンター職員を招き、技術の習得による公衆衛生検査の精度向上と技術定着を目指す。</p>
4. プロジェクト目標	・遼寧省における公衆衛生状況が向上する。
5. 対象地域	遼寧省
6. 受益者層	遼寧省疾病予防コントロールセンター職員及び遼寧省の住民（4200万人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 遼寧省疾病予防コントロールセンターの検査体制の状況が把握される。</li> <li>2 受入予定の同センター職員の検査精度が向上・定着する。</li> <li>3 上記職員及び現地職員も含め、検査技術に精通した職員が指導的立場となり、他職員に研修成果が伝承されるよう、遼寧省疾病予防コントロールセンターの公衆衛生検査に係る研修指導体制の検討及び研修指導が実施される。</li> <li>4 感染症対策、遺伝子組換え食品情報解析等の検査における問題点や解析情報の提供について、同センター職員間の共通認識が醸成される。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>(遼寧省での活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同県衛生研究所職員により、現地においてアセスメント実施</li> <li>・本邦研修のフォローアップとして技術の改善に向けた指導を実施</li> <li>・本邦研修にて習得した検査技術の現地における展開・定着について意見交換。</li> </ul> <p>(本邦研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病予防コントロールセンター職員に対して、感染症対策、遺伝子組換え食品情報解析の研修を実施する。</li> </ul>
8. 実施期間	2012年8月から2015年3月
9. 事業費概算額	23,684千円
10. 事業の実施体制	神奈川県国際課は当事業の実施期間を通じて全体をモニタリングする。神奈川県衛生研究所と本事業を共同で実施し、課題の確認、連絡調整等のコーディネートを行う。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	神奈川県
2. 対象国との関係、協力実績	<p>1983年に神奈川県と遼寧省は友好提携を締結。</p> <p>SARSを始めとした感染症対策等の公衆衛生分野での協力事業について遼寧省から要請があり、2004年から3か年にわたり韓国・京畿道も含めた現状報告・対策について協議を実施。また、神奈川県海外技術研修員受入事業において、これまでに遼寧省から144名を受け入れており、同機関からは2006年から毎年1名の研修員を受け入れ、感染症・食料品や飲料水、化粧品等の検査技術についての研修を受けている。</p>